

兵庫県福祉サービス第三者評価の結果

1 評価機関

名 称	株式会社 第三者評価		
所 在 地	大阪市東淀川区東中島1-17-5 ステュディオ新大阪		
評価実施期間	2012年2月5日 ～ 2012年3月30日 2段階方式評価 実地訪問調査日 2012年 3月21日 (水) 現場の保育サービスを中心に確認 2012年 3月 5日 (月) 評価基準を中心に確認		
評価調査者	HF05-1-0098	吉山 浩	(リーダー)
	HF06-1-0019	山田 奈津美	(メンバー)
	HF10-1-0001	八巻 芳子	(報告書査読)
	HF10-1-0002	加藤 文雄	(報告書査読)
	HF05-1-0100	池上 裕子	(報告書査読)

2 福祉サービス事業者 概要

事業所名称： いまふくゆうゆう保育園	種 別： 第2種社会福祉事業 児童福祉施設 保育園
代表者氏名： 藤澤 純子 園長 (竹田事務長、安部主任)	開設年： 平成21年 4月1日
経 営 主 体： 社会福祉法人 来夢	定 員： 60名
所 在 地：〒 660-0812 尼崎市今福1-2-23	
電話番号： 06(4868)5806	FAX番号： 06(4868)5807
メール： yuuyuu@wings-rokkoh.com	http://amakko.net/amakko/user/6018/blog/showDetail.do

3. 理念・方針等

保育理念 「優しさ保育」

人を人として尊重する心、人への信頼感、愛、夢、希望、思いやり、感謝する心、物を大切にする心など目には見えない物の中に大事なものがあり、それが優しさにつながると考える。

子どもは今を最もよく生き、日々成長し、未来への可能性を秘めた夢のある存在である。

子どもの夢を育んでいく周囲の環境は重要である。

子どもの最善の利益を求め、保育園が「もう一つのお家」と思えるように、子どもや保護者、地域の方々の「居場所」となり、安心できる場・くつろげる空間として、

家庭・地域と共により良い地域環境を創っていきたい。

コンセプト：

- <自然との対話> 自然界の事象・現象 木のぬくもり、いのちの尊さ
- <もう一つのお家> 居場所づくり 自己肯定感、自己を発揮していきいきと遊べる場
- <食する楽しさ> 食育（収穫物、料理活動）、健康

保育方針 「子どもを受け入れる、認める、大切にすること」を基本姿勢にする。

- 食を通して、食べることの大切さ、楽しさ、丈夫な身体への関心を持つようにする。
- お互いを認め合い、自分も友達も大切に思える感性を育む。
- 子どもの主体性と意欲・やる気・自主・協調の態度を養い、人への信頼感を培い、人と関わる力の基礎を育む。
- 季節や自然の変化を感じ、自然の中で生かされていることを知り、驚き、発見、不思議さなどを通して、「生命の尊さ」の意識を養う。
- 自己を表現し、豊かな感性を育む。
- 地域に開かれた保育園をめざす。

4 特に力を入れて取り組んでいる点

<食する楽しさ>

食育 感謝の気持ちを持って楽しく食べる

○ 収穫物

芋の苗植え～収穫

夏野菜の苗植え～収穫

米作り 稲～稲穂～稲刈り

○ 料理活動

ネギ焼き 夏野菜のカレーづくり

焼き芋 ピザ パン クッキー

さつま芋のお焼き バナナマフィン

健康

○ 生活リズムを整える

○ 運動遊び（年間を通して講師を招聘している）

サーキット遊び 仲間づくりの遊び

<もう一つのお家>

○ 情緒の安定

○ クラスの所属感（保育者、友達と一緒にうれしい。安心して過ごす。）

○ 好きな遊びを十分に楽しむ。（自己肯定感）

○ お互いを認め合い育ち合う仲間（みんな違って、みんないい）

< 自然との対話>

○ 飼育・栽培を通していのちの尊さを知る。
アゲハ蝶の羽化、カブトムシの幼虫～成虫
死んだときにいのちの尊さを伝える。

○ 自然事象・現象に興味関心を持つ。

「大事にしたいこと」 「子どもを受け入れる、認める、大切にする」ことを基本姿勢にする。

- 一人一人違っていい、かけがえのない存在であることを場面場面で伝えていく。
- 「自分がされていやなことは、人にしない」という人権の基本的なルールを知らせる。
- 自尊感情を育む。(自己肯定感をもち、自分を大好きな子どもに)
- 一人一人の育ちを見つめ、心を育む。
- 子どもが自己を発揮し、主体的に生活や遊びができるように、環境を整える。
- 乳幼児期に、楽しい、うれしい経験をたくさんできるようにする。

5. 園児の状況に関する事項 (平成24年1月1日現在)

6か月未満	6か月～1歳3か月未満	1歳3か月～2歳未満	2歳児	3歳児
0名	2名	13名	16名	9名
4歳児	5歳児	6歳児	合 計	
10名	9名	8名	67名	

6. 職員の状況に関する事項 (平成24年1月1日現在)

	総数	園長	事務長	主任	副主任
常勤	12名	1名	1名	1名	1名
非常勤	7名	—	—	—	—
	保育士	調理師(外部)			
常勤	5名	3名			
非常勤	7名	—			

7. ボランティアの受け入れ

平成23年度 ボランティアの受け入れ人数(延べ人数) 4人 (内訳 栽培・園芸活動)

8. 実習生の受け入れ(後進の育成)

平成23年度 実習生の受け入れ人数(実数) 保育士 2人 (短大 1人、専門学校 1人)

9. サービス利用者からの意見等の聴取について

- 行事の際、意見・感想などを記入してもらおう。
(保育参加 年2回、 運動会、 みんなのお楽しみ会など)
- 保育参加では、給食の試食会を実施し、アンケートを記入していただく。
- 地域の子育て支援の保育体験事業（前期と後期で5回ずつ実施）において、終了後にアンケートを記入していただく。
- 意見箱を玄関に設けている。（用紙に記入していただき、箱に入れる。）

10. 評価結果

○ 総評

☆☆☆ 特に評価が高い点 ☆☆☆

- 1) 子ども・保護者・尼崎市のニーズに応え、平成21年4月民営化移行後、毎年、利用者人数を増やし、公立保育園時34人であったが、3年目の平成23年度には倍増の67人とし、尼崎市の待機児童削減に貢献されたこと
- 2) 平成24年2月実施の保護者アンケートにて、対象家庭数50件全てにアンケート用紙を配布し、声掛け等を行い、その内40件を回収（回収率80%）し、保育園の総合評価という項目で、80%の保護者から”たいへん良い 又は 良い保育園”と評価された点
- 3) 園長の掲げる“優しさ保育”に共鳴する『子どもが好きな愛情豊かな保育士』と共に、地域になくてはならない保育園になろうと日々努力を続けている点

※ 基準に照らし合わせると、改善が必要と思われる点

- ① 会計に関する外部の専門家が行う会計管理体制の整備状況の確認、経営改善への活用を実施され、法人運営の透明性を確保されることを期待します。
- ② 職員のやる気を鼓舞する人事考課体制の仕組みの確立、及び その実施をされたら
(園長が職員に期待している仕事の内容を、面接時に明確な書面で示す)
如何でしょうか。
- ③ 各個人の教育を受けた結果の記録は多々あり、各人は丁寧にその報告書を記載しています。
ただ反面、園全体の「研修計画」は、作成されていましたが、職員一人ひとりの「研修計画」を確認出来ませんでした。全体計画から各個人の計画へ進化させては如何でしょうか。
- ④ 安全面で、「ヒヤリハット」、「再発防止」、「未然防止」の要因の分析（何故、なぜ、なぜ）、
及び その除去を三徹（徹頭・徹尾・徹底）される事を期待します。
- ⑤ 個別に改善は実施されていますが、「改善計画書」を確認できませんでした。
P (Plan・計画策定) →D (Do・実行) →C (Check・評価) →A (Act・見直し)
の流れが見える、『誰が、いつまでに、どうするのか』をあらかじめ決めた一覧性の
ある「改善計画書」を作成されては如何でしょうか。
- ⑥ 「マニュアル」を定期的に見直した事（内容の変更の有無に関わらず）が、
客観的に分かるよう工夫されては如何でしょうか

以上

第三者評価を受けるにあたっては、尼崎市の強い意向により受けることになりましたが、日頃の保育内容や運営面を振り返る良い機会になりました。

今までも職員会議やまとめの会議の中で保育の振り返りの機会を作っているつもりでしたが、いざチェックシートの項目を考えるにあたって、もう一度日々の保育実践を職員1人ひとりが考えてみることで、各クラスや給食室にとどまらないで園全体の保育を広く深く見直す論議ができたことが大きな力になりました。

合わせて諸規定や各種マニュアルの整理や文章の記録にいたるまでも見直す機会になりました。

第三者評価調査者の方からの意見や保護者の方からのご意見もあわせて真摯に受け止め今後の保育運営に生かしていきたいと思えます。

○ 各評価項目に係る第三者評価結果 (別紙1)

○ 各評価項目に係る評価結果グラフ (別紙2)

評価細目の第三者評価結果

【基準の説明 a 目標となる高いレベル b 一般的なレベル C 改善の機会】

評価対象 I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

	第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針を確立している。	
I-1-(1)-① 理念を明文化している。	a
I-1-(1)-② 理念に基づく基本方針を明文化している。	a
I-1-(2) 理念や基本方針を周知している。	
I-1-(2)-① 理念や基本方針を職員及び利用者やその家族等に周知している。	a

特記事項

理念、方針は、HP、「保育園のしおり」、「保育過程」等に記載しており、職員には、年度当初・途中採用時に説明したり、職員会議でも教育しています。また、理念、方針を記載した『カード』を各人が持っており、周知徹底しています。

訪問当日、複数の方に、理念・方針をヒアリングし、主旨の理解度を確認しました。

保護者には、図や絵柄等でわかりやすい資料にし、配布しています。

I-2 計画の策定

	第三者評価結果
I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画を明確にしている。	
I-2-(1)-① 中・長期計画を策定している。	a
I-2-(1)-② 中・長期計画を踏まえた事業計画を策定している。	a
I-2-(2) 計画を適切に策定している。	
I-2-(2)-① 計画の策定を組織的に行っている。	a
I-2-(2)-② 計画を職員や利用者に周知している。	a

「3～5年 中長期計画」を確認し、平成23年度実施済み①収納家具の増設、②主任・副主任体制構築、③太鼓、安全用クッション材、防災用テントの購入、④お餅つき実施、⑤地域病院マップ作成等が予定通り実施されていました。

平成24年度には、①国の保育士配置基準+2人、②安全用に「飛び出し注意」ポスト購入、③オレンジリボン運動参画、平成25年度には、①男性保育士の採用、②内部監査の開始、③太陽光パネルの設置等を計画されています。

「事業計画」、「職員会議-議事録」「理事会-議事録 (5/20付け)」にて、適切に振り返りが実施されている事を確認しました。

また、年度末の3/30に理事会を予定されていました。

I-3 管理者の責任とリーダーシップ

	第三者評価結果
I-3-(1) 管理者の責任を明確にしている。	
I-3-(1)-① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	a
I-3-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a
I-3-(2) 管理者のリーダーシップを発揮している。	
I-3-(2)-① 質の向上に意欲を持ちその取組に指導力を発揮している。	a
I-3-(2)-② 経営や業務の効率化と改善に向けた取組に指導力を発揮している。	a

特記事項

「仕事の役割分担表」にて管理職の表明や、「遵守しなければならない法令一覧表（2009.4.1）」の職員への周知、及び見直しが2012年2月29日（水）に実施された事を確認しました。

保育サービスの質の向上のため、年1回保育園の自己評価を実施し、保育課題を明確にし、職員とのヒヤリングを行い、毎月、カリキュラム会議を行い、取り組んでいます。

また、「日々の職員配置一覧表」が、事務室に掲示されており、業務の効率化、体制を明確にしていきました。

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 経営状況の把握

	第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	
Ⅱ-1-(1)-① 事業経営をとりまく環境を的確に把握している。	a
Ⅱ-1-(1)-② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取組を行っている。	a
Ⅱ-1-(1)-③ 外部監査等を実施している。	C

特記事項

経営環境の変化を察知するために、尼崎市の保育園で組織する園長会への加入や経営コンサルタントが主催する勉強会に参加するなど、経営状況の分析や課題を発見する努力をしています。

公認会計士、監査法人による外部監査は実施されていませんでしたが、外部の税理士による決算は実施されていました。

福祉サービス評価で言うところの外部監査は、平成22年度の改訂により以下のようにまとめられました。

『公認会計士、監査法人が実施するものだけでなく、税理士その他の会計に関する外部の専門家が行う会計管理体制の整備状況の確認も含まれ、法人運営の透明性の確保が目的で、その結果を経営改善に活用しているか否かを評価するもの』

何らかの形で、透明性の確保、経営改善の活用手段として、外部監査を実施されることを期待します。

II-2 人材の確保・養成

	第三者評価結果
II-2-(1) 人事管理の体制を整備している。	
II-2-(1)-① 必要な人材に関する具体的なプランを確立している。	a
II-2-(1)-② 人事考課は客観的な基準に基づいて行っている。	b
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮している。	
II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みを構築している。	a
II-2-(2)-② 福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	a
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制を確立している。	
II-2-(3)-① 職員の教育・研修に関する基本姿勢を明示している。	a
II-2-(3)-② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画を策定し、計画に基づいて具体的な取組を行っている。	b
II-2-(3)-③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	b
II-2-(4) 実習生の受け入れを適切に行っている。	
II-2-(4)-① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	a
II-2-(4)-② 実習生の育成について積極的な取組を行っている。	a

特記事項

園長は、人事考課の目的や効果を理解しており、主任・副主任と「自己申告表」をベースに話し合いを実施済みでしたが、職員との面談は、まだ実施されておらず、(3/22-27 予定)、訪問日現在では、完結していませんでした。

これを機に、職員のやる気を鼓舞する人事考課体制を模索しながら構築される事を期待致します。

各職員の質の向上の為、園外研修への参加は活発に行われており、奨励もされています。ただ反面、園全体の「研修計画書」は作成されていますが、職員一人ひとりの「研修計画書」は確認できませんでした。

また、年度の途中でその園全体で「研修計画書」を見直した事が客観的証拠で確認できませんでした。

平成 23 年度の実習生（後進の育成）の受け入れは、2 人でした。

II-3 安全管理

		第三者評価結果
II-3-(1) 利用者の安全を確保するための取組を行っている。		
II-3-(1)-①	緊急時（事故、感染症の発生時など）の対応など利用者の安全確保のための体制を整備し機能している。	a
II-3-(1)-②	利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	b

特記事項

<p>緊急時（事故、感染症の発生時など）の子どもの安全確保はクラス担当者を中心に行い、保育課程「健康・安全に関する留意事項」、「危機管理マニュアル」を基に、全職員が子どもの安全確保を最優先に行動する体制となっています。「事故報告書」、「ヒヤリハット報告」は何枚か記載されていますが、『ハインリッヒの法則』－（大きな事故：小さな事故：ヒヤリとした経験：1：29：270）を頭に入れ、それらの要因の分析（何故、なぜ、なぜ）、及びその除去を三徹（徹頭・徹尾・徹底）される事を期待します。</p> <p>また、下記の保護者アンケート結果 【保育園の状況】 “どちらともいえない” 及び “いいえ” の数値に配慮してご対応いただければ幸いです。</p>
<p>保護者アンケート結果より抜粋 【保育園の状況】</p> <p>④ 子どもの事故防止や保育環境を整備するための施設の改善・補修が適切に行われていると思いますか？</p> <p>→ はい31 (77.5%) どちらともいえない 7 (17.5%) いいえ 1 (2.5%) 未記入1</p>

II-4 地域との交流と連携

		第三者評価結果
II-4-(1) 地域との関係を適切に確保している。		
II-4-(1)-①	利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	a
II-4-(1)-②	事業所が有する機能を地域に還元している。	a
II-4-(1)-③	ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a
II-4-(2) 関係機関との連携を確保している。		
II-4-(2)-①	必要な社会資源を明確にしている。	a
II-4-(2)-②	関係機関等との連携を適切に行っている。	a
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
II-4-(3)-①	地域の福祉ニーズを把握し、事業・活動を行っている。	a

特記事項

職員は、地域の人に笑顔で挨拶を交わす事を心掛けており、近隣のI団地の住民との餅つき大会の実施（23年12月8日木曜日）、地域の老人と保育園児との交流事業等、地域に溶け込む努力をしています。また、中学生の”トライやるウイーク”、高校生の職業体験の受け入れも行っています。

『ボランティア受け入れマニュアル』を作成し、栽培・園芸活動をお手伝いしてもらっています。

平成23年度 ボランティアの受入れ人数（延べ） 4人 （栽培・園芸活動）

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

	第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢を明示している。	
Ⅲ-1-(1)-① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	a
Ⅲ-1-(1)-② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	a
Ⅲ-1-(2) 利用者満足の向上に努めている。	
Ⅲ-1-(2)-① 利用者の意向の把握と満足の向上への活用に取り組んでいる。	a
Ⅲ-1-(3) 利用者が意見等を述べやすい体制を確保している。	
Ⅲ-1-(3)-① 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	a
Ⅲ-1-(3)-② 苦情解決の仕組みを確立し十分に周知・機能している。	a
Ⅲ-1-(3)-③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	a

特記事項

子ども・保護者を尊重した保育が実施されており、プライバシー（羞恥心）に配慮した取り組みが実施されています。

玄関に意見箱を設置、玄関横の職員室を相談のスペースを用意しています。

苦情解決の仕組みは、『社会福祉事業の経営者による福祉サービスに関する苦情解決の仕組みの指針（厚生省児童家庭局長 平成12年6月7日）』の沿った形で実施されており、苦情解決責任者を園長、苦情受付担当者を主任、第三者委員に外部の3名で体制整備しており、園内掲示もされています。

今回、評価機関のルールに沿って保護者アンケート（時期 2月）を実施、（園児 67人、総家庭数 50家族、アンケート回収 40件、回収率 80%）、保護者の高い満足度を示していました。（別添 アンケート結果-参照）

ただ反面、下記の保護者アンケート結果 **【相談】** の “どちらともいえない” “いいえ” の数値に配慮された対応も望まれるところです。

保護者アンケート結果より抜粋 **【相談】**

⑧ お子さんに関する悩みや不安などについて、担任保育士や園長に気軽に相談

できる雰囲気・態度がありますか？

→ はい 32 (80%) どちらともいえない 6 (15%) いいえ 1 未記入 1

III-2 サービスの質の確保

	第三者評価結果
III-2-(1) 質の向上に向けた取組を組織的に行っている。	
III-2-(1)-① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	a
III-2-(1)-② 評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。	a
III-2-(1)-③ 課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。	b
III-2-(2) 個々のサービスの標準的な実施方法を確立している。	
III-2-(2)-① 個々のサービスについて標準的な実施方法を文書化しサービスを提供している。	a
III-2-(2)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みを確立している。	a
III-2-(3) サービス実施の記録を適切に行っている。	
III-2-(3)-① 利用者に関するサービス実施状況の記録を適切に行っている。	a
III-2-(3)-② 利用者に関する記録の管理体制を確立している。	a
III-2-(3)-③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	a

特記事項

保育サービスの改善は、園長が職員と個人面談や毎月の「カリキュラム会議」で、職員の意見、提案を聞いたり、年2回、保育士の自己評価を分析し、保育園の自己評価につなげ、課題の文書化、共有化を図り、新年度の会議で改善策を立て実施しています。(平成23年度は、新たに運動遊びを取り入れています)

2月実施の保護者アンケートで浮かび上がった保護者からの要望の1つ、“災害時の非難等の対応”については、直ぐに、玄関掲示板で返答されました。しかし、他にも対応するか否か検討を進めた結果、工夫し時間を掛けて何らかの対応される事もあるかと思えます。そのような際に活用する「改善計画書」を確認できませんでした。

P (Plan・計画策定) →D (Do・実行) →C (Check・評価) →A (Act・見直し) の流れが見え、『誰が、いつまでに、どうするのか』をあらかじめ決めた一覧性のある「改善計画書」を作成されては如何でしょうか。

また、園庭は広くありませんので、保育園から園児たちの徒歩圏内にある複数の公園に頻繁に(週2~3回)お散歩に出かけています。よくお散歩に出かけるのは一番近くにある今福公園、そのほかにも常光寺南、長洲、小田南、奥の坊公園などです。年齢や園児たちの発達に合わせて行き先を変えています。年中さんや年長さんはアスレチックやブランコ、サッカーができる公園、また1歳児や2歳児の小さな園児たちには広

場や砂場があり、また安全に遊べる公園を選んでいきます。公園では設置された遊具や砂場を利用するだけでなく、季節に合わせてセミとり、秋の虫とり、季節の花の観察たこあげなど時期に合わせた活動をしています。

2月実施の保護者アンケートの設問 ⑰散歩等で戸外にでる機会が多いですか？

→回答 はい26 (65%)、どちらともいえない13 (32.5%)、いいえ1 (2.5%)

“どちらともいえない” という回答が、他の設問に比べ、多くありました。

回数・内容とも園庭の狭さを補うのに十分な取り組みをされていますが、取り組みをアピールされていないのがもったいないと感じました。

また、下記の保護者アンケート結果 【要望・意見や不満・トラブル対応】の “どちらともいえない” 及び “いいえ” の数値に配慮してご対応いただければ幸いです。

保護者アンケート結果より抜粋 【要望・意見や不満・トラブル対応】

★ お子さんや保護者の不満やトラブルへの職員の対応は的確ですか？

→ はい 27 (67.5%) どちらともいえない 9 (22.5%) いいえ1 未記入3

☆ お子さんや保護者の要望・意見をもとに、改善が行われていますか (意見箱) ?

→ はい 31 (77.5%) どちらともいえない 6 (15%) いいえ2 未記入1

Ⅲ-3 サービスの開始・継続

	第三者評価結果
Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始を適切に行っている。	
Ⅲ-3-(1)-① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	a
Ⅲ-3-(1)-② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	a
Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。	
Ⅲ-3-(2)-① 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a

特記事項

「パンフレット」、「しおり」等の配付、玄関等への張り紙、ホームページにても必要と思われる情報は提供しています。また、市役所などに『尼崎市の保育所』冊子があり随時、見学、体験を受け入れ説明も実施しています。

「就学前懇談会資料」また、保護者の同意を示す「長時間保育の同意書」も確認しました。

保護者アンケート結果より抜粋 【情報の提供】に関して

⑩ 保育園に入所する際に、保育の内容や方法などについて説明がありましたか？

→ はい 34 (85%) どちらともいえない 4 いいえ 1 未記入 1

⑫ 「園だより」や「掲示板」などのお知らせは、あなたに分かりやすく伝えようとする工夫が感じられますか？

→ はい 34 (85%) どちらともいえない 4 いいえ 2 未記入 0

Ⅲ-4 サービス実施計画の策定

		第三者評価結果
Ⅲ-4-(1) 利用者のアセスメントを行っている。		
Ⅲ-4-(1)-①	定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	a
Ⅲ-4-(1)-②	利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	a
Ⅲ-4-(2) 利用者に対するサービス実施計画を策定している。		
Ⅲ-4-(2)-①	サービス実施計画を適切に策定している。	a
Ⅲ-4-(2)-②	定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	a

特記事項

入所面接の時に資料に添って、聞き取り「児童保育台帳」に記載。子どもの誕生月、半年後の年二回、見直しています。乳児は「月間指導計画」に個別課題を明示し、「カリキュラム会議」にて振り返り、園長・主任・副主任により助言がなされています。

訪問評価当日3/21（水）午前中、評価員は、教室、園庭で展開される保育サービスの実施状況を「Ⅳ章のチェック項目」に沿って確認しました。

園庭にある“おもちゃを収納するカゴ”には、子どもが自分で収納しやすいよう、それぞれのカゴに“写真を掲示し、定位置の明示”がされており、工夫されていました。

評価対象Ⅳ 実施する福祉サービスの内容

Ⅳ-1 子どもの発達援助

	第三者評価結果
Ⅳ-1-(1) 発達援助の基本	
Ⅳ-1-(1)-① 保育計画が、保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成している。	a
Ⅳ-1-(1)-② 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している。	a
Ⅳ-1-(2) 健康管理・食事	
Ⅳ-1-(2)-① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	a
Ⅳ-1-(2)-② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	a
Ⅳ-1-(2)-③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映している。	a
Ⅳ-1-(2)-④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している。	a
Ⅳ-1-(2)-⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている。	a
Ⅳ-1-(2)-⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	a
Ⅳ-1-(2)-⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	a
Ⅳ-1-(2)-⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	a
Ⅳ-1-(3) 保育環境	
Ⅳ-1-(3)-① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a
Ⅳ-1-(3)-② 生活の場に相応しい環境とする取組を行っている。	a
Ⅳ-1-(4) 保育内容	
Ⅳ-1-(4)-① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている。	a
Ⅳ-1-(4)-② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している。	a
Ⅳ-1-(4)-③ 子どもが自発的に活動できる環境を整備している。	a
Ⅳ-1-(4)-④ 身近な自然や社会とかかわれるような取組を行っている。	a
Ⅳ-1-(4)-⑤ さまざまな表現活動が体験できるように配慮している。	a
Ⅳ-1-(4)-⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	a
Ⅳ-1-(4)-⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している。	a
Ⅳ-1-(4)-⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。	a
Ⅳ-1-(4)-⑨ 乳児保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
Ⅳ-1-(4)-⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮している。	a
Ⅳ-1-(4)-⑪ 障害児保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a

「児童保育台帳」、「月間指導計画の個別課題」、「職員ノート」、「カリキュラム会議資料」、「保護者会資料」等を閲覧し、方針に基づいた作成、地域の実態や保護者の意向を反映した作成がなされている事を確認しました。

献立表は、園だよりと共に保護者に、前月下旬に配布されています。保護者アンケートでも食に関する項目は高い満足度を示しています。(2012年2月実施の結果、下記)

評価当日3/21(水)の献立は、①高野豆腐の肉詰め煮、②キャベツのごま和え、③具だくさんみそ汁、④ごはん、午後のおやつは、じゃこマヨピザ、バナナチョイスでした。

健康管理面では、『感染症マニュアル』、『ホームケアガイド』、『乳幼児健康観察のポイント』、「健康診断結果報告書」、「歯科検診お知らせ」、「SIDS予防のためのチェック表」等を確認しました。

【 開園3年間の特別保育の実績 】

- ① 0歳児保育 [平成21年 14人、平成22年 14人、平成23年 13人]
- ② 延長保育 [平成21年 595人、平成22年 1308人、平成23年 1665人]
- ③ 一時保育 [平成21年 81人、平成22年 54人、平成23年 15人]
- ④ 障害児保育 [平成21年 2人、平成22年 2人、平成23年 0人]
- ⑤ 子育て支援事業

園庭開放 火・水・木曜日 9:30~12:00 平成23年 7人

保育体験学習 年2回、前期・後期各5回、計10回、5組8人参加

☆ この項目は、2月実施の保護者アンケート結果で極めて高い評価を得ています。

保護者アンケート結果より抜粋 【子どもの様子】【情報の提供】に関して 極めて評価が高い

- ⑤ 保育園で、お子さんは楽しく生活していると思いますか？

→ はい 39 (97.5%) どちらともいえない 1 (2.5%) いいえ 0

⑥ お子さんは担任保育士など職員を信頼し、保育園になじめていますか？

→ はい 40 (100%) どちらともいえない 0 いいえ 0

⑦ お子さんが、生活発表会や運動会などの各種行事（練習過程を含む）に、
楽しんで参加していますか？

→ はい 40 (100%) どちらともいえない 0 いいえ 0

⑧ 感染症（インフルエンザやはしかなど）や食中毒の発生状況や予防対策など
についてお知らせがありますか？

→ はい 34 (85%) どちらともいえない 5 (12.5%) いいえ 1

⑨ 献立表やサンプル展示などで、毎日の給食やおやつの内容がわかるようになって
いますか？

→ はい 40 (100%) どちらともいえない 0 いいえ 0

⑩ 給食のメニューは充実していますか？

→ はい 37 (92.5%) どちらともいえない 2 (5%) いいえ 1 (2.5%)

IV-2 子育て支援

	第三者評価結果
IV-2-(1) 入所児童の保護者等への育児支援	
IV-2-(1)-① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている。	a
IV-2-(1)-② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容を必要に応じて記録している。	a
IV-2-(1)-③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。	a
IV-2-(1)-④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている。	a
IV-2-(1)-⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。	a
IV-2-(1)-⑥ 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。	a

特記事項

<p>保護者とのクラス懇談、個人懇談に加え、「クラスノート」、「連絡帳」、送迎時等、保護者と密な話し合いを実施しています。</p> <p>虐待に関するマニュアルを整備し、子どもの様子に疑問等がある場合は、即座に職員間で情報交換する体制を整備している。</p>

IV-3 安全・事故防止

	第三者評価結果
IV-3-(1) 安全・事故防止	
IV-3-(1)-① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施している。	a
IV-3-(1)-② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知している。	a
IV-3-(1)-③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取組を行っている。	a
IV-3-(1)-④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知している。	b
IV-3-(1)-⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知している。	b

委託先の東証一部上場のR社が、園内にて材料から調理をしており、『衛生管理マニュアル(2009. 7. 1付け、改訂第12版)』、及び 『感染症対応マニュアル(2008. 12. 1付け、改訂第3版)』があり、その対応方法についても全職員にも周知されている事を毎月の「研修実施記録」より確認しました。

安全管理については園長が中心となり『事故や災害の発生時に対応する』及び『不審者の侵入時などに対応する』マニュアル等が整備されて実施されています。ただし、定期的に、マニュアルの変更の必要性を検討した客観的証拠が確認できませんでした。知識や技術の変化・進歩はもちろん、社会や子どもたちの発達過程もどんどんと変化していきますので、それら動きに応じた対応が求められます。適切な対応、より良い対応をするためにも定期的なマニュアルの見直しをお願いします。

(変更しなくて良いのか、変更した方が良いのか、園内にて検討した結果の記録を第三者評価基準は求めています)

防犯セキュリティ面では、T社の機械警備、監視カメラの画像の写り具合、各階の県警ホットラインを確認しました。